Panasonic

取扱説明書
ワイヤレススピーカーシステム
品番 SC-ALL2

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（裏面）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

本機を使用していただくためのサポート情報は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

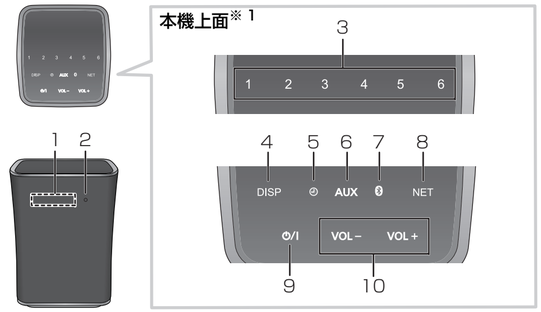
さらに詳しい操作説明は、「取扱説明書＜活用ガイド＞」（PDF 形式）に記載されています。下記 Web サイトからダウンロードしてお読みください。
http://panasonic.jp/support/global/cs/audio/oi/
「取扱説明書＜活用ガイド＞」は、右記 QR コードをスキャンしてご覧になることもできます。
- 「取扱説明書＜活用ガイド＞」（PDF 形式）を閲覧・印刷するためには、Adobe Reader が必要です。Adobe Reader は、下記のサイトからダウンロードできます。（2015 年 6 月現在）
http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html

パナソニック株式会社　ホームエンターテインメント事業部
〒571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

© Panasonic Corporation 2015

RQT0A30-1S
F0515HA2075

各部の名前と働き



1 表示窓
2 ネットワーク接続ランプ
3 [1]～[6] ※2
（点灯・点滅機能なし）
インターネットラジオのチャンネルを選ぶ
- タッチしたままにすると、選局中のチャンネルをそのまま記憶させることができます。
- 本機は「Qualcomm® AllPlay™ Radio powered by TuneIn」に対応しています。インターネットラジオを聴くには、「AllPlay Radio」アプリを起動してください。
Qualcomm® AllPlay™ Radio powered by TuneIn は、Qualcomm Connected Experiences, Inc. の製品です。

4 [DISP] ※2
時計表示に切り換える
- タッチしたままにすると、ディマー機能モードへ切り換わります。

5 [🕘] ※2
アラーム（おめざめタイマー）/ おやすみタイマーを設定する / 切る
- 「Panasonic Music Streaming」アプリ（無料）を使って設定することができます。

6 [AUX]
AUX（外部機器）を音源に選ぶ

7 [ᛒ]
Bluetooth® を音源に選ぶ
- タッチしたままにすると、下記の操作をすることができます。
  – Bluetooth® 機器とペアリング
  – Bluetooth® 機器との接続を解除

8 [NET]
– ネットワークを音源に選ぶ
– ファームウェアを更新する

9 [⏻/I]
電源を入 / 切する

10 [VOL−]/[VOL +]
音量を調節する：
0（最小）～ 50（最大）

※1: 本機上面のタッチキーはタッチ方式を採用しているため、触れるだけで働きます。タッチキーに触れると操作音が鳴ります。
※2: 詳しくは、「取扱説明書＜活用ガイド＞」をご覧ください。

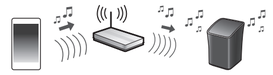
ネットワークの音楽を楽しむ

Qualcomm® AllPlay™ や DLNA 機能を利用して、ネットワーク接続している機器にある音楽やオンラインで配信されている音楽などを本機からお楽しみいただけます。
Qualcomm® AllPlay™ smart media platform は、Qualcomm Connected Experiences, Inc. の製品です。

スマートフォンなどにアプリ「Panasonic Music Streaming」（無料）をダウンロード・インストールしてください。
iOS 機器：
App Store
Android™ 機器：
Google Play™
- アプリ「Panasonic Music Streaming」の使い方について詳しくは下記をご覧ください。
iOS 機器：
http://panasonic.jp/support/audio/app/music_streaming/ios/
Android 機器：
http://panasonic.jp/support/audio/app/music_streaming/android/

1 本機をネットワークに接続する（⇨ 下記 ）
2 スマートフォンなどを本機と同じネットワークに接続する
3 「Panasonic Music Streaming」アプリを起動する
- アプリは常に最新バージョンをお使いください。

4 再生する音源を選択する
5 再生する曲を選択する
6 「Select Speaker」で本機を選ぶ
ネットワーク接続している機器にある音楽を本機からお楽しみいただけます。



Bluetooth® 機器の音楽を楽しむ

スマートフォンなどの Bluetooth® 機器の音楽を本機からお楽しみいただけます。
- Bluetooth® 機器に付属されている説明書などもお読みください。

1 本機と Bluetooth® 機器の電源を入れ、機器を本機に近づける
2 Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機能を有効にする
3 [ᛒ] をタッチする
[ᛒ] がゆっくり点滅します。
- [ᛒ] が速く点滅する場合は、手順 5 に進んでください。

4 [ᛒ] を 2 秒以上タッチしたままにする
[ᛒ] が速く点滅します。
5 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® 接続画面などを開き、機器名「SC-ALL2」を選ぶ
本機と機器が接続されると、[ᛒ] が点灯します。
6 Bluetooth® 機器で音楽などを再生する

■ 接続を解除するには
[ᛒ] を 2 秒以上タッチしたままにする
[ᛒ] がゆっくり点滅します。

■ Bluetooth® 機能の設定について
「Bluetooth® スタンバイの設定」や「Bluetooth® の通信モードの切り換え」など、その他の Bluetooth® 機能の設定について詳しくは、「取扱説明書＜活用ガイド＞」をご覧ください。

外部機器の音声を聴く

外部機器からの音声を本機からお楽しみいただけます。
1 外部機器を接続し、本機の電源を入れる
2 [AUX] をタッチする
[AUX] が点灯します。
3 外部機器で音楽などを再生する

■ 外部機器の音声入力レベルを選ぶには
1 「AUX」選択中に、[AUX] を 4 秒以上タッチしたままにする
表示窓に現在の設定（お買い上げ時は「In: 0」）が点滅表示されます。
2 [VOL–] または [VOL +] をタッチして設定を変更する
In: 0：ノーマルレベル
In: 1：ハイレベル
3 [DISP] をタッチして設定を決定する

ファームウェアを更新する

動作の改善や、新機能の追加のため、当社は本機のファームウェアを必要に応じて更新しています。

「Panasonic Music Streaming」アプリ（バージョン 2.0.8 以降）の画面に表示されるアップデートを促すポップアップからアップデートすることもできます。アプリについて詳しくは下記をご覧ください。
http://panasonic.jp/support/audio/app/

故障の原因になりますのでファームウェアの更新中は絶対に電源コードを抜かないでください。
更新中は「UPd」や「U □□」などの進捗状況が表示されます。（「□」は数字を表しています）
- ファームウェアの更新中は他の操作はできません。

1 本機をインターネットにつながったネットワークに接続する（⇨ 下記 ）
- ネットワーク接続ランプが青色と赤色の交互に点滅している場合、点滅が止まるまでお待ちください。

2 [NET] を 4 秒以上タッチしたままにする
3 [NET] をタッチしたままの状態で、表示窓に「UPd」が点滅表示されたら、[AUX] をタッチする
更新が完了すると、表示窓に「End」が表示されます。
電源プラグを抜いて、1 分以上たってから電源プラグを差し込んでください。
- 更新には数分かかります。お使いの環境により、さらに時間がかかったり、インターネット接続ができなくなる場合があります。
- 最新のファームウェアのときは、表示窓に「no nEEd」と表示されます。

付属品

付属品をご確認ください。
□ **電源コード（ 1 本 ）** K2CA2YY00269

- 付属品の品番は、2015 年 5 月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。
また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。
http://jp.store.panasonic.com/
パナソニックグループのショッピングサイト
Panasonic Store

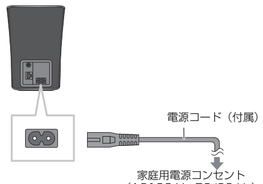
本機のお手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはがれるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。
- 本機を廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。（⇨ 裏面 「本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには」）
- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

接続のしかた



本機の電源入の状態では、故障の原因になりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。

長期間使用しないときは
電源を切った状態でも電力を消費しています。（⇨ 裏面 ）節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをお勧めします。

■ 外部機器との接続のしかた

■ よりよい音響効果を得るために
音は置きかたによって変わります。
下記を参考に、よりよい音質をお楽しみください。
- 平らで安定した場所に設置する
- スピーカー周囲の様子をできるだけ同じにする
- 左右は壁から離す
- 硬い壁やガラス窓には厚地のカーテンなどを掛けて音の反射を少なくする
- 後ろの壁から5 cm以上離して設置する

■ 本機（スピーカー）について
- 本機は防磁設計ではありません。本機の近くに時計や磁気カード（クレジットカード）を置いたり、本機をテレビやパソコンの近くに置かないでください。
- 大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- 通常の使用時でも音がひずんだときは、音量を下げてご使用ください。（音量を下げないと、スピーカーの破損の原因になることがあります。）

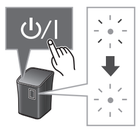
音のエチケット
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。
特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。

本機をネットワークに接続する（ネットワークの音楽を楽しむ場合は必要です。）

■ 無線ルーターを使って接続する
スマートフォンやタブレットを使って接続することができます。
- WPS（Wi-Fi Protected Setup™）を使った接続について詳しくは、「取扱説明書＜活用ガイド＞」をご覧ください。

1 本機に電源コードを接続する
- LAN ケーブルを接続しないでください。

2 [⏻/I] をタッチし、電源を入れる



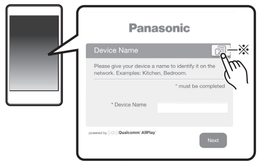
ネットワーク接続ランプが青色と赤色の交互に点滅します。約 1 分経過すると、青色のゆっくりとした点滅が始まります。
- 青色のみの点滅が始まらない場合は、ネットワークリセットを行ってください。（⇨ 右記 ）

3 スマートフォンやタブレットで Wi-Fi® 設定画面を開く

4 「ALL2 □□□□□□_AJ」を選ぶ
- 表示されるまでに 1 分ほどかかる場合があります。

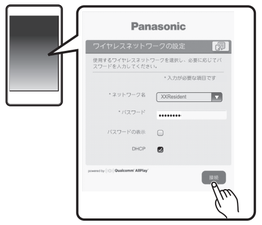
- 接続できない場合は、1 分ほど待ってから再度選んでください。

5 「ALL2 □□□□□□_AJ」に接続完了後、インターネットブラウザのアドレス欄に下記の URL を入力する
http://172.19.42.1/
下記画面が表示されます。アイコン（※）をタッチして「日本語」を選んでください。
- 機器によっては下記画面が自動で表示されます。



6 本機の名前をつける
例：台所、リビングなどお好きな場所

7 接続する無線ルーターのネットワーク名（SSID）を選択する



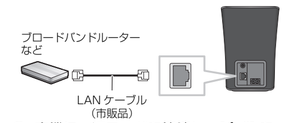
- 必要な場合は、無線ルーターで設定しているパスワードを入力してください。詳しくはルーターの説明書などをご覧ください。
- ルーターの WPA2™ セキュリティー方式への再設定を促すエラーメッセージが表示される場合は、ルーターの説明書をご覧になって WPA2™ セキュリティー方式に設定してください。

8 数秒間待つと接続設定完了です！
- 少しお待ちいただくと、スマートフォンやタブレットは自動的に Wi-Fi ネットワークへ接続されます。
自動的に接続されない場合は、設定または機器の Wi-Fi 設定画面から Wi-Fi ネットワークを再設定してください。

ネットワーク接続ランプが赤色で数秒間点滅したあと、本機の接続が完了するとランプが青色で点灯します。

■ 有線（LAN ケーブル）を使って接続する
1 本機の電源コードを抜く
2 本機とブロードバンドルーターなどを LAN ケーブルで接続する
- カテゴリー 5（CAT5）以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。

例：



3 本機に電源コードを接続し、[⏻/I] をタッチして電源を入れる
- 接続が完了すると、ネットワーク接続ランプが青色で点灯します。

ネットワークリセット
1 本機の電源が入っている状態で、[NET] と [1] を 4 秒以上タッチしたままにする
表示窓に「-- --」が点滅し始めます。
2 10 秒以内に [NET] をタッチする
ネットワーク接続ランプが青色と赤色の交互に点滅し始めます。

会員サイト**「CLUB Panasonic」**で**「ご愛用者登録」**をしてください
PC http://club.panasonic.jp/ 携帯
※このサービスは WEB 限定のサービスです。

故障かな！？

本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには

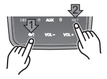
本機の記録情報を消去したい場合は、本機の設定をお買い上げ時の状態に戻してください。

1 **本機の電源が入っている状態で、[⏻/I] を 4 秒以上タッチしたままにする**

本機上面　　本機表示窓

2 **[⏻/I] をタッチしたままの状態で、[NET] をタッチする**

本機上面



お買い上げ時の状態に戻している間は「--:--」が表示されます。

本機上面　　本機表示窓

本機の電源が切れ、「-- --」が表示されると、お買い上げ時の状態に戻ります。

- ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻すには、ネットワークリセットを行ってください。（⇨ 表面）

電源が入らない

電源コードを接続したあとは、10 秒ほど待ってから電源を入れてください。

再生中に「ブーン」という音がする

接続コードの近くに他の電気機器の電源コードや蛍光灯がありませんか。他機器の電源を切るか、本機からできるだけ離してください。

AUX 入力端子からの音声がひずんでいる

入力信号のレベルが高いと音声がひずみます。接続機器の音量を下げてください。

ネットワーク接続ランプが青と赤で点滅したままになっている

本機の修理が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

取扱説明書に記載されているように本機が動作しない

本機のファームウェアを更新してください。（⇨ 表面）

著作権など

本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、® マークは一部記載していません。

Qualcomm は、米国およびその他の国で登録されている Qualcomm Incorporated の商標であり、許可を得て使用しています。
AllPlay は、Qualcomm Connected Experiences, Inc. の商標であり、許可を得て使用しています。
TuneIn は、米国およびその他の国で登録されている TuneIn Inc. の商標であり、許可を得て使用しています。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

Google Play、Android は Google Inc. の商標です。

DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.

App Store は Apple Inc. のサービスマークです。

"Wi-Fi CERTIFIED™" ロゴは、"Wi-Fi Alliance®" の認証マークです。Wi-Fi Protected Setup™ 識別マークは、"Wi-Fi Alliance®" の認証マークです。"Wi-Fi®" は "Wi-Fi Alliance®" の登録商標です。"Wi-Fi Protected Setup™"、"WPA™"、"WPA2™" は "Wi-Fi Alliance®" の商標です。

MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。
(1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPLV2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2. 1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
(5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア
上記（３）～（５）に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。
詳細は、以下のウェブサイトに表示されるライセンス条件をご参照ください。
http://panasonic.jp/support/global/cs/audio/oss/all8_3_1c.html
パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。
問い合わせ窓口：
oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com
また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。
http://panasonic.net/avc/oss/

FLAC Decoder
Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007,2008,2009 Josh Coalson
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
– Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
– Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
– Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する
異常があったときには、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体に変形や破損した部分がある。**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない
（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は本機を装着部から 22 cm 以上離す

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠ 注意

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

本機の上に物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。
- 側面、背面には放熱孔がありますので、設置の際は壁から 1 cm ほど離してください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

油煙や湿気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

本機の移動時は、片手で持って移動しない

落下すると、けがの原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは

■ **まず、お買い求め先へご相談ください。**

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電話　（　　）　－
お買い上げ日　年　月　日

修理を依頼されるときは

本書内の「故障かな！？」（⇨ 左記）または「取扱説明書＜活用ガイド＞」内の「故障かな！？」、「こんな表示が出たら」でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品名	ワイヤレススピーカーシステム
品番	SC-ALL2
故障の状況	できるだけ具体的に

- **保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください**
  保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
- **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間　6 年

当社は、このワイヤレススピーカーシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

■ **転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。**

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

- **使いかた・お手入れなどのご相談は・・・**

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://www.panasonic.com/jp/support/

パナソニック お客様ご相談センター
電話　365日 受付9時～20時
フリーダイヤル　パナは　365日
0120-878-365
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130 #」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）
■ 上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■ FAX　フリーダイヤル 0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03)3256-5444　**Osaka** (06)6645-8787
Open：9:00 - 17:30
(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

- **修理に関するご相談は・・・**

パナソニック 修理サービスサイト
http://club.panasonic.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口
電話
フリーダイヤル　パナは　イイヨ
0120-878-554
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

- **宅配便による引取・配送サービスも承っております。（保証期間内は無料）**

■ 各地域の 修理ご相談窓口　※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区		**近畿地区**	
札 幌	☎(011)894-1255	滋 賀	☎(077)582-5021
旭 川	☎(0166)22-3015	京 都	☎(075)646-2123
帯 広	☎(0155)33-8478	大 阪	☎(06)7730-8888
函 館	☎(0138)48-6630	奈 良	☎(0743)59-2770
東北地区		和歌山	☎(073)475-2984
青 森	☎(0172)62-0880	兵 庫	☎(078)796-3140
秋 田	☎(018)868-7008	**中国地区**	
岩 手	☎(019)645-6130	鳥 取	☎(0857)26-9695
宮 城	☎(022)387-1117	松 江	☎(0852)23-1128
山 形	☎(023)641-8100	出 雲	☎(0853)21-3133
福 島	☎(024)991-9308	浜 田	☎(0855)22-6629
首都圏地区		岡 山	☎(086)242-6236
栃 木	☎(028)689-2555	広 島	☎(082)295-5011
群 馬	☎(027)254-2075	山 口	☎(083)973-2720
茨 城	☎(029)864-8756	**四国地区**	
埼 玉	☎(048)728-8960	香 川	☎(087)874-3110
千 葉	☎(043)208-6034	徳 島	☎(088)624-0253
東 京	☎(03)5477-9700	高 知	☎(088)834-3142
山 梨	☎(055)222-5822	愛 媛	☎(089)905-7544
神奈川	☎(045)847-9720	**九州地区**	
新 潟	☎(025)286-0180	福 岡	☎(092)593-8002
中部地区		佐 賀	☎(0952)26-9151
石 川	☎(076)280-6608	長 崎	☎(095)830-1658
富 山	☎(076)424-2549	大 分	☎(097)556-3815
福 井	☎(0776)21-0622	宮 崎	☎(0985)63-1213
長 野	☎(0263)86-9209	熊 本	☎(096)367-6067
静 岡	☎(054)287-9000	鹿児島	☎(099)246-7050
愛 知	☎(052)819-0225	**沖縄地区**	
岐 阜	☎(058)255-5784	沖 縄	☎(098)877-1207
三 重	☎(059)254-5520		

滋 賀	☎(077)582-5021 栗東市小柿9丁目4-10
京 都	☎(075)646-2123 京都市南区上鳥羽中河原3番地
大 阪	☎(06)7730-8888 東大阪市長田東1丁目3-12
奈 良	☎(0743)59-2770 大和郡山市筒井町800番地
和歌山	☎(073)475-2984 和歌山市栗栖373-4
兵 庫	☎(078)796-3140 神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
鳥 取	☎(0857)26-9695 鳥取市安長295-1
松 江	☎(0852)23-1128 松江市平成町182番地14
出 雲	☎(0853)21-3133 出雲市渡橋町416
浜 田	☎(0855)22-6629 浜田市下府町327-93
岡 山	☎(086)242-6236 岡山市北区野田3丁目20-14
広 島	☎(082)295-5011 広島市西区南観音1丁目13-5
山 口	☎(083)973-2720 山口市小郡下郷220-1
香 川	☎(087)874-3110 高松市国分寺町国分359番地3
徳 島	☎(088)624-0253 徳島市沖浜2丁目36
高 知	☎(088)834-3142 高知市仲田町2-16
愛 媛	☎(089)905-7544 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
福 岡	☎(092)593-8002 春日市春日公園3丁目48
佐 賀	☎(0952)26-9151 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
長 崎	☎(095)830-1658 長崎市東町1919-1
大 分	☎(097)556-3815 大分市荻原4丁目8-35
宮 崎	☎(0985)63-1213 宮崎市木郷北方字草葉2099-2
熊 本	☎(096)367-6067 熊本市東区健軍本町12-3
鹿児島	☎(099)246-7050 鹿児島市上荒田町27-4
沖 縄	☎(098)877-1207 浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html　0515

愛情点検　長年ご使用のワイヤレススピーカーシステムの点検を！

こんな症状はありませんか
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体に変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

▶ ご使用中止　故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

仕様

■ 総合

電源	AC100 V、 50/60 Hz
消費電力	18 W
電源切（スタンバイ）時の消費電力	
（Bluetooth® スタンバイを「OFF」に設定時）※1、※2	約 0.25 W
（Bluetooth® スタンバイを「On」に設定時）※1、※2	約 0.3 W
（ネットワークスタンバイ有効時）	約 3.5 W
寸法（幅 × 高さ × 奥行）	120 mm×180 mm×135 mm
質量	約 1.5 kg
許容動作温度	0 ºC ～ +40 ºC
許容相対湿度	35 % ～ 80 % RH（結露なきこと）

■ 端子部

イーサネットインターフェース	LAN（10BASE-T/100BASE-TX）
外部入力端子（AUX IN）	ステレオミニ （3.5 mm）

■ Bluetooth® 部

バージョン	Bluetooth® Ver.2.1 +EDR
送信出力	Class 2
対応プロファイル	A2DP
接続周波数	2.4 GHz band FH-SS
見通し通信距離	約 10 m

■ Wi-Fi 部

Wi-Fi

ワイヤレス LAN 規格	IEEE802.11a/b/g/n
周波数範囲	2.4 GHz 帯 / 5 GHz 帯
セキュア方式	WPA2™
WPS version	Version 2.0

対応フォーマット (AllPlay)

MP3/AAC	
サンプリング周波数	32/44.1/48 kHz
量子化ビット数	16 bits
チャンネル数	2 ch
FLAC※3/ALAC/WAV	
サンプリング周波数	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz
量子化ビット数	16 bits/24 bits
チャンネル数	2 ch

対応フォーマット (DLNA)

MP3	
サンプリング周波数	32/44.1/48 kHz
量子化ビット数	16 bits
チャンネル数	2ch
FLAC※3/WAV	
サンプリング周波数	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz
量子化ビット数	16 bits/24 bits
チャンネル数	2 ch

■ ワイヤレス部

ワイヤレスモジュール	
周波数帯域	2.4034 GHz ～ 2.47735 GHz
チャンネル数	38

■ アンプ部

実用最大出力	40 W（JEITA）
	4 Ω、1 kHz、全高調波ひずみ率 10 %

■ スピーカー部

スピーカーユニット	
フルレンジ	8 cm コーン型 × 1
インピーダンス	4 Ω

- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

※ 1：ネットワークスタンバイが働いていない場合
※ 2：表示窓が消灯している場合
※ 3：非圧縮 FLAC ファイルの場合は、正しく動作しないことがあります。

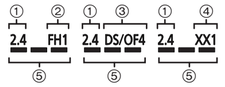
無線機能使用上のお願い

■ 使用周波数帯

内蔵無線機器は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、定格銘板に記載しています。



①2.4 GHz 帯を使用
②変調方式が FH-SS 方式 電波与干渉距離 10 m 以下
③変調方式が DSSS と OFDM 方式 電波与干渉距離 40 m 以下
④変調方式がその他の方式 電波与干渉距離 10 m 以下
⑤2.400 GHz ～ 2.4835 GHz の全帯域を使用

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーテーションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：　**パナソニック株式会社**
パナソニック お客様ご相談センター
（⇨ 右記）

■ 機器認定

内蔵無線機器は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、内蔵無線機器に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。
- 分解 / 改造する
- 定格銘板を消す / はがす
- 5 GHz 帯無線 LAN を使って屋外で通信を行う

■ 使用制限

内蔵無線機器の使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線機器の使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。
- **日本国内でのみ使用できます。**
- **利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。**
  無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID: ネットワークを識別するための名前）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- **磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。**
  次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
  – 電子レンジ
  – デジタルコードレス電話機
  – その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く（ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）
  – 電波が反射しやすい金属物などの近く
- **電波によるデータの送受信は、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があり傍受される可能性があります。**
- すべての Bluetooth® 機器との無線通信を保証するものではありません。
- 無線通信する Bluetooth® 機器は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であれば、一部動作する場合がありますが、機器の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。
間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。
- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。
- 無線 LAN を使用中に Bluetooth® 機器の音が途切れたり雑音が入る場合は、無線 LAN のご使用をお控えください。

■ 用途制限

内蔵無線機器は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途※での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

※ ハイセイフティ用途：きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のこと。
例：原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運転制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御、など